

淡路(三原川等)地域総合治水推進計画

改定概要

- 1.地域総合治水推進計画改定のポイント
- 2.地域総合治水推進計画の構成
- 3.これまでの取り組み
- 4.計画改定に関する方針



兵庫県

1.地域総合治水推進計画改定のポイント

(1)当初策定から概ね10年となるため、次期計画へ移行

- 淡路（三原川等）地域総合治水推進計画の策定（H26年度策定）から概ね10年が経過するため、河川下水道対策、流域対策、減災対策についての**取り組み実績や課題**を踏まえ、次期計画を策定する。
- よりわかりやすい計画とするため、**本編と資料編の2部構成**とする。

(2)地域総合治水推進計画に記載しているデータ等の時点修正

- 淡路（三原川等）地域総合治水推進計画における「計画地域の概要」、「現状と課題」等の記載内容について、統計データ等の**時点修正や表現の適正化**を図る。

(3)社会情勢の変化、法令の改正等による変更

- 気候変動を踏まえた治水対策の必要性を盛り込む。
- デジタル化等、最新の社会情勢を踏まえた更新を図る。

2.地域総合治水推進計画の構成

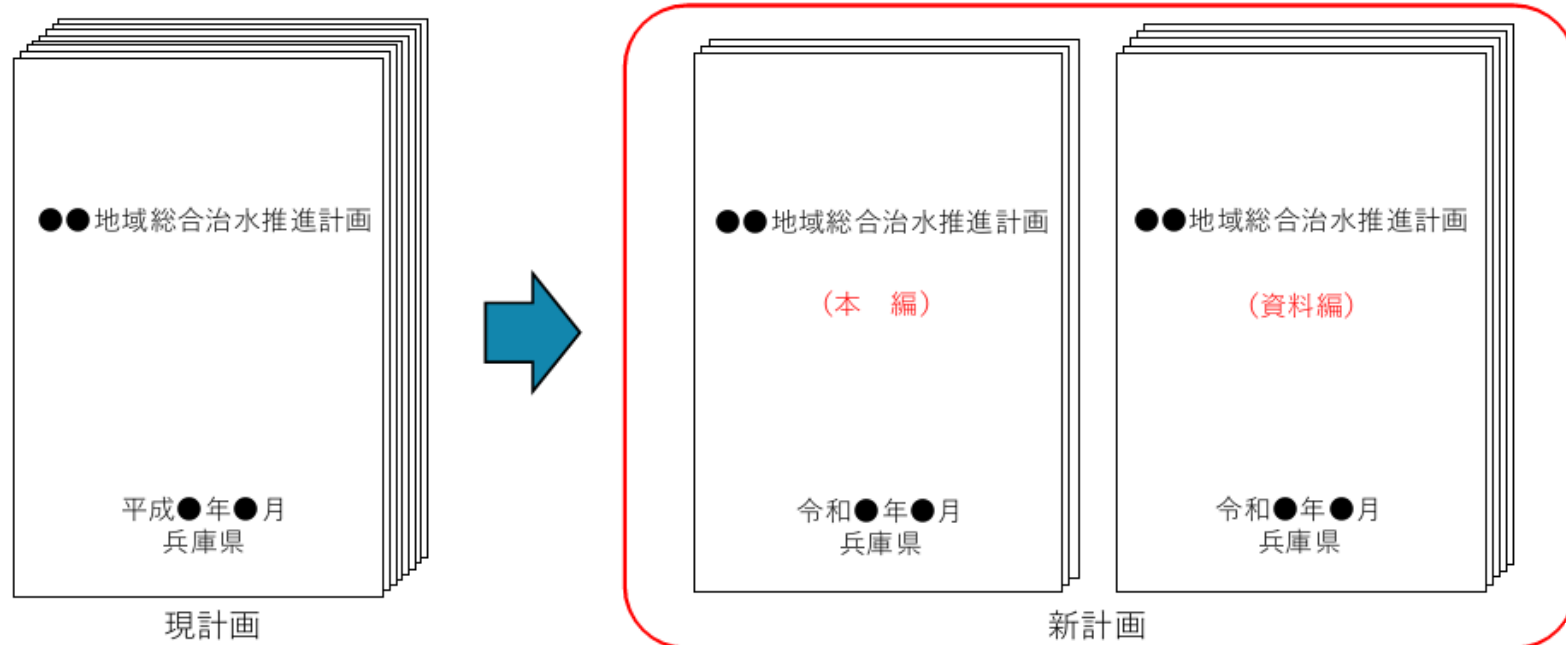
■わかりやすい計画とするため、計画の本編と資料編の2部構成とする。

（現計画の課題）

○現計画は、地形、気象、歴史文化などに加え、既往計画の転記など記載内容が多く、わかりやすい計画とする必要がある。

○計画改定のたびに過去を取り組みを上書きすると、取り組み実績が削除されてしまう。

（特に流域対策は取り組みの蓄積が重要）



2.地域総合治水推進計画の構成

■本編は、目標、方針、計画期間内に実施する対策等について、計画期間内の取組が容易かつ明確に把握できるように記載する。

■資料編は、過去の被災状況やこれまで取組実績等の情報を記載する。

＜本編 目次＞	＜資料編 目次＞
1.計画地域の概要	1.計画地域の概要
2.総合治水の基本的な目標	（計画地域の概要（土地利用・地形、気候・気象、自然環境、歴史・文化）、洪水被害の発生状況）
3.総合治水の推進に関する基本的な方針	2.河川下水道対策（これまでの取組）
4.河川下水道対策	3.流域対策（これまでの取組）
5.流域対策	4.減災対策（これまでの取組）
6.減災対策	5.計画改定履歴
7.環境の保全と創造への配慮	
8.総合治水を推進するにあたって必要な事項	

3.これまでの取り組み

河川下水道対策

指標	H24(条例施行時)		R5年度末	
	全県	淡路	全県	淡路
①河川改修率	56.8%	55.4%	60.1%	60.2%

①平成16年10月台風23号等を契機として、着実に改修を実施中

流域対策

指標	H24(条例施行時)		R5年度末	
	全県	淡路	全県	淡路
①雨水貯留容量	—	—	+約1,200万m ³	+146万m ³
②既存ダムの治水活用	—	—	+約6,300万m ³ ※	+51万m ³

①ため池、水田、公園等を活用し、雨水貯留容量を確保

②島内の利水ダム8ダム全てと多目的ダム3ダムで治水活用に取り組んでいる。

減災対策

指標	H24(条例施行時)		R5年度末	
	全県	淡路	全県	淡路
①洪水浸水想定(想定最大)	—	—	680河川	全64河川
②河川ライブカメラ	124箇所	7箇所	332箇所	34箇所
③フェニックス共済加入率	8.5%	18.8%	9.4%	23.2%

①管内の県管理64河川全てで洪水浸水想定区域図を作成

②河川ライブカメラを34箇所に拡充

③フェニックス共済加入率は、全県に比べ高い加入率

4.計画改定の主な内容

河川下水道対策

【現状】

- 平成16年台風23号等を契機として改修が進捗し、河川改修率は55.4%(H24)⇒60.2%(R5)に向上。
(全県56.8%(H24)⇒60.1%(R5))

【対策】

- インフラ整備プログラム、各市の事業計画等に基づき、**大日川の河川改修**、**倭文川排水機場の更新**、**志筑川中上流部の河道拡幅**、**各市のポンプ場更新・下水道対策**などの計画的な推進に取り組む。
- 引き続き、流水の阻害となる**堆積土砂の撤去**や樹木の伐採等の維持管理を行う。特に破堤すると甚大な被害につながる盛土構造の堤防については、堤体を目視確認できるよう点検前除草に取り組む。



大日川(山王橋周辺)



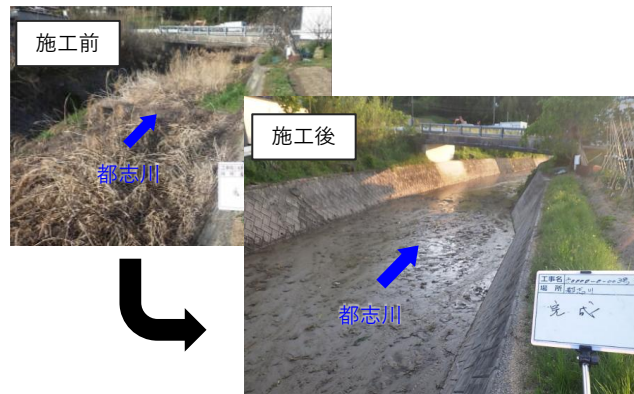
志筑川中上流部(中道橋周辺)

各市のポンプ場、下水道対策の進捗状況 (R5末)

実施主体	整備内容	進捗
洲本市	特定環境保全公共下水道 (都志地区) (1/7規模)	83.9%
	公共下水道 (洲本地区) (1/7規模)	76.6%
南あわじ市	倭文両岸内水域小型排水ポンプ新設	整備完了
	志知川 (南) 排水機場 ポンプ更新	R6予定
	湊第1排水ポンプ場 ポンプ増強	R6予定
淡路市	特定環境保全公共下水道 (江井地区) (1/7規模)	100%
	公共下水道 (岩屋地区) (1/7規模)	15.5%



倭文川排水機場



堆積土砂の撤去



〔南あわじ市〕
志知川 (南) 排水機場

4.計画改定の主な内容

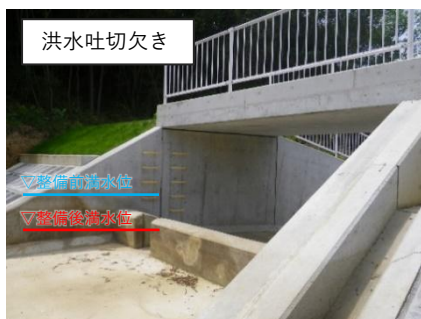
流域対策

【現状】

- ため池事前放流約98万 m^3 、水田貯留約等45万 m^3 等、計146万 m^3 の雨水貯留容量を確保した。
(全県1,176万 m^3)

【対策】

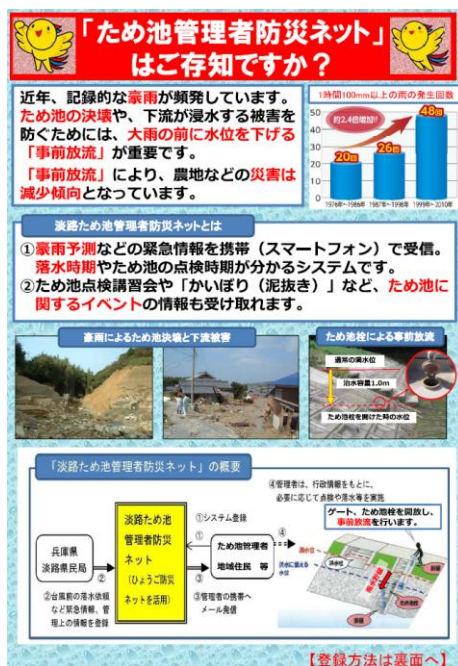
- ため池治水活用**の拡大に取り組むとともに、事前放流が確実に行われるよう「**ため池管理者防災ネット**」を活用して豪雨予測をため池管理者に情報発信する。
- 水田貯留**については、ほ場整備を行う地域等でせき板を配布し、水田貯留を拡大するとともに、管理者へのパンフレット配布等、情報発信・啓発に取り組む。
- 3市統合ごみ処理施設など、貯留浸透施設の設置を進める（公的施設の整備・改修のタイミング等）。
- 各戸貯留**について、地域住民に対し、普及啓発を図り、地域住民の取組を支援する。
- 利水ダム**の治水活用として約47万 m^3 を確保しており、台風期等の期間放流を継続する。



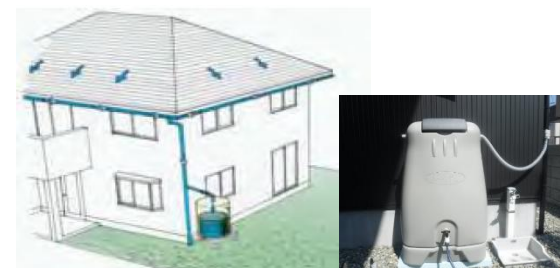
ため池の治水活用



水田貯留



ため池管理者防災ネット



各戸貯留



利水ダムの治水活用

4.計画改定の主な内容

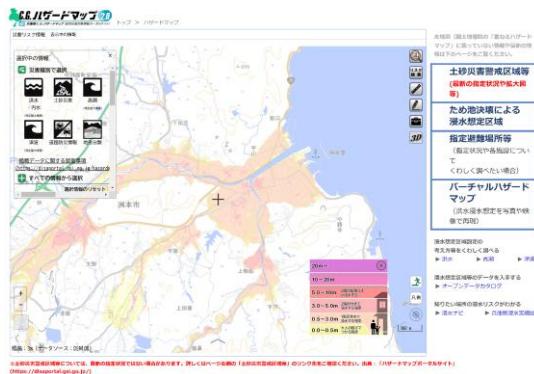
減災対策

【現状】

- ・洪水浸水想定区域図を作成済み。河川ライブカメラを水位計の箇所等に設置済。
- ・フェニックス共済への加入率（23.2%）は、全県（9.4%）と比べて高い。

【対策】

- ・CGハザードマップ等をSNSなどで周知し、雨量・河川水位・河川ライブカメラ等のリアルタイム情報の活用促進に取り組む。
- ・防災マップ作成、防災訓練等に引き続き取り組む。



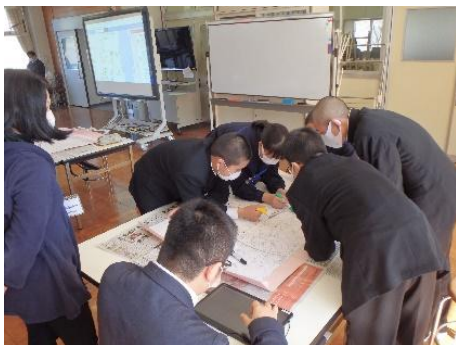
CGハザードマップ



河川ライブカメラ



河川水位



防災マップ作成



防災マップ（淡路市志筑地区）



防災訓練